



# おおば 区政報告

グーグル検索等で、おおば正明 と入力すれば おおば正明 @ 世田谷区議 がヒットします。私のホームページです。

<http://ooba.muse.bindsite.jp/>

〒157-0063 粕谷3-15-3 (TEL&FAX 3307-1179) メールは 110ban@t3.rim.or.jp

第57号外 2017年4月

知っていますか？



世田谷区の財政

裏面に「3分でわかるざっくり世田谷区の財政状況」を解説 H29年度一般会計予算 2987億円は3月28日可決

保坂区長の行革無策が続けば…

## 10年後、区の借金は現在の3倍、1500億円に！

## 6年後、緊急時の最低限の資金を残して貯金はゼロに！

今年2月世田谷区政策経営部が公表

私たちの会派は問題点を指摘し予算に反対！

### なぜ借金は増大するのか？

●下図は2月に公表された世田谷区の今後30年を見通した借金(特別区債)と貯金(基金残高)と毎年の返済額(償還額)の一覧表です●そもそもなぜ借金は増大するのでしょうか●それは公共施設の多さにあります。公共施設の老朽化の時期に入ります。人口90万。世田谷区には区立小中学校だけで92校(小63、中29)、1校あたりの改築費を約30億円として2760億円かかります●毎年1校ずつやれば、92年サイクルの改築となり現実的ではありません●そこで年2校ペースで取り組んでいきましたがリーマンショックで財政的な見通しがつかなくなりました●小中学校で平成に入って

### 区長の仕事とは・・・

改築したのはわずか21校、残り71校はその多くが昭和30年、40年代の建築●公共施設は区立小中学校のほかにも区立保育園50園、図書館21館、区民会館、区民センター、庁舎等々と建物だけでも886施設あります●区長の仕事の一つは、「作りっ放し」の公共施設の再整備と統廃合とメンテナンスなのです●限られた財源で、時代にそぐわない施設や事業を改める「決断」をするのが、区長の仕事です●しかし東日本大震災直後に当選した保坂区長。災害対策を期待されたものの、うわべだけの災害対策(本部をプレハブ庁舎に移動しただけ)で、議会からの批判を浴び、さらに本部庁舎を「芸

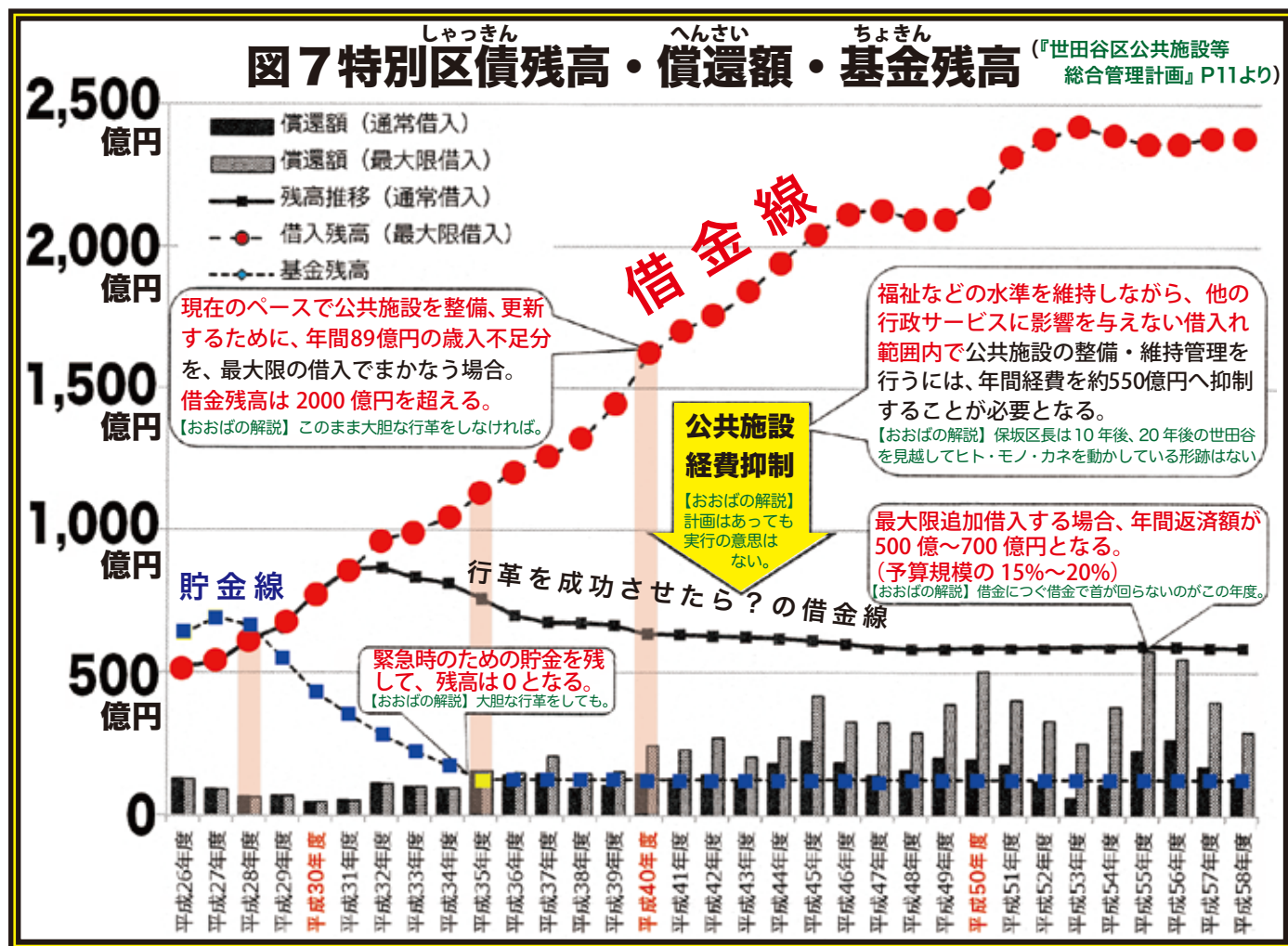
### 目先だけで仕事をしない

術品”だと主張する大失態も、昨年の熊本地震でようやく目が覚め、首都直下でも機能する災害対策施設の建築を「決断」(した模様?)●しかしここまでの時間の空費2年半●つまり、**区長が仕事(決断)をしなければ、お金は貯まりません、借金の増大を抑えることもできません**●下表の左端は平成26年度です。保坂区長は自著でも22年ぶりに借金より貯金が上回り、「財政健全化」を達成したと自慢しています。(右上はその著書を区長室を使って販売宣伝しているYouTube画像。公共施設での営業行為と決算委員会で指摘され現在削除)●しかし庁舎問題一つをとっても、時間の浪費、無駄な論争が

### 不都合な未来は隠せない



続く区政運営●老朽化は待ってられません。「財政健全化」?●その“おとぎ話”も平成29年度から崩れます●極め付けは平成35年度には貯金が底をつくことです●このことは世田谷区の政策経営部が2月に発表した「公共施設等総合管理計画」にちゃんと載っています●しかし1月に発表された保坂区長の予算書では触れておりません●つまり、気付いているけど対策は打たない、というのが保坂区長の政治姿勢なのです●区長にとって10年後、20年後のことより、目先の人気取り(選挙?)と著書の販促が大事なのかと疑いたくなります。



3月28日予算は可決されたけど

**世の中を動かすのは多数派だが、世の中を変えるのは少数派**

●区議会議員50人のうち保坂区長の一般会計予算に反対したのは私の属する「無所属・世田谷行革110番」の3人だけ●もちろん反対だけすれば良いというものではありません。私たちは区が提出した資料(左)に基づきしっかりと指摘し、反対しています●もちろん反対の見通しが立った段階では修正案という「段取り」(議会手続き)に移りますが、(ここが議会存在のキモのはずでは?)保坂区政に92パーセント(議長除く)の議員が賛成の現状では動きようもありませんでした●本会議場では「反対意見のような賛成意見」が多く表明されたのですが結局、起立(賛成)してしまえば、保坂区長はニマリ。何も変わりません!いいのか?